

水門工事に伴い魚類の引っ越しを行いました。

島田土木事務所 R3.6.24

島田土木事務所では、「地震・津波対策アクションプログラム 2013」に基づき、坂口谷川において、津波対策水門の建設を進めています。現場周辺では、希少魚類の生息が確認されており、工事に伴い取り残された魚類の保護・移動を目的に生物調査を実施し、環境に配慮した施工を行います。6月24日に実施した調査の結果、絶滅危惧種を含む魚類約40種 10248個体が採取され、工事範囲から他箇所へ移動させることができました。



【工事概要】

名称	(仮称) 坂口谷川水門
事業期間	平成29年度～令和5年度
計画施設高	海拔 +6.2m (計画津波高 T.P+5.90m)
施設規模	形式 鋼製シェル構造ローラーゲート
	設置数 2門
	純径間 33.00m
	カーテンウォール高 T.P+6.20m

完成予想図



【生物調査の様子】 令和3年6月24日



締切内の生物をくまなく探す



種別の判定作業



工事範囲外へ放流

【調査結果】

約40種 10248個体の魚類を採取

【まとめ】

- ・工事範囲の生物の生息状況を把握するとともに、範囲内の生物を保護することができた。
- ・工事中は、濁度、pH、底泥の厚さ等に注意しながら工事を進める。
- ・調査結果や施工方法、環境計画書等の情報共有を図り、工事完了後に再度環境調査を実施予定。

≪引き続き現地の自然環境に配慮しながら、工事を進めてまいります。≫